

〈第72回例会〉
午後のポエジア



〈午後のポエジア〉が始まって今年で5回目、前史を含めれば6回目です。最初は〈ポーランドの詩を読む〉と銘うって江別市の劇場「ドラマシアターども」の公演に加わり、数人の会員とポーランド人がポーランド詩を朗読しました。その後、本会の例会として今の名前になり、日本人とポーランド人が家族や友人ぐるみで交流する素敵なつどいとなりました。

〈北海道ポーランド文化協会〉は、1987年設立、初代会長は今村成和・元北大学長。北海道とポーランドのあいだの文化交流の促進を目的とし、文学・歴史・美術・映画・音楽などポーランドの多様な文化を愛する民間団体です。2013年、「ポーランド文化功労章」を受章しました。



共 催 北海道ポーランド文化協会



後 援 札幌市・札幌市教育委員会

午後のポエジア 5 プログラム

第1部(14:00~)

司会:アレクサンドラ・ヤヴォロヴィッチ=ジムニ (Aleksandra Jaworowicz-Zimny) & 栗原朋友子 (Tomoko Kurihara)

- ◆ S・ヴィスピヤンスキ「わたしの墓前では誰にも泣いてほしくない」栗原成郎訳 / S. Wyspiański „Niech nikt nad grobem mi nie płacze”
〈朗読〉エヴァ・コヴァルスカ (Ewa Kowalska)
& 新井藤子 (Fujiko Arai)
- ◆ C・ミウオシュ「別れ」坂倉千鶴訳 / C. Miłosz „Pozegnanie”
〈朗読〉レナタ・シャレック (Renata Szarek)
& 小林暁子 (Akiko Kobayashi)
- ◆ W・シンボルスカ「マリーとピエールの愛」「ピエールの死をこえて」つかだ みちこ訳 / W. Szymborska „Miłość Marii i Piotra Curie”
〈朗読〉アレクサンドラ・ヤヴォロヴィッチ=ジムニ (Aleksandra Jaworowicz-Zimny) & 大塚広介 (Kosuke Otsuka)
- ◆ 宮沢賢治「雨ニモマケズ」 / Miyazawa Kenji „Nie czuć trwogi przed deszczem” (日本語より翻訳:ウカシュ・シュプナル Łukasz Szpunar)
〈朗読〉マレク・クラフチック (Marek Krawczyk)
& 小笠原正明 (Masaaki Ogasawara)
- ◆ J・バルシュチェフスキ「白ロシア幻想譚」より 越野剛訳
〈朗読〉越野剛 (Go Koshino)
- ◆ U・シュルヴィッツ「おとうさんのちず」さくま ゆみこ訳
〈朗読〉大久保律子 (Ritsuko Okubo)
- ◆ 宮沢賢治「鹿(しし)踊りのはじまり」
〈朗読〉熊谷敬子 (Keiko Kumagai)

第2部(15:30~)

- ♪ M. Grechuta „Będziesz moją panią” (M・グレフタ詞・曲「キミがボクの恋人になったなら」)
〈歌〉ミハウ・マズル (Michał Mazur)
& 〈キーボード〉安藤むつみ (Mutsumi Ando)
- ♪ 詞/斉藤由貴・曲/崎谷健次郎「月野原(つきのはら)」
〈歌・キーボード〉新井藤子 (Fujiko Arai)
- ♪ 三味線演奏 端唄・三味線 花季会社中 (Trupa Hanaki-kai)
花季汀蘭 & 汀美 (Hanaki Teiran i Teimi)
- ◆ 自作詩「足跡(そくせき)」より
〈朗読〉菅原みえ子 (Mieko Sugawara)
- ◆ 夏目漱石「夢十夜」より
〈朗読〉霜田千代磨 (Chiyomaro Shimoda)

懇親会(17:00~)

- ♪ „Krakowiaczek jeden” anonim, piosenka ludowa (「クラクフ人一人」民謡); „Płynie Wisła” piosenka ludowa, słowa: Edmund Wasilewski (「ヴィスワ川が流れる」民謡・E・ヴァシレフスキ詞)
〈歌〉リリアナ・コヴァルスカ, 河村恵李アンナ & 明希カリナ (Liliana Kowalska, Eri-Anna i Aki-Karina Kawamura)



北海道ポーランド文化協会 第72回例会

朗読会へのご招待

午後のポエジア Part5



2015.6 / 13 (土)

開演PM 2:00

(開場 30 分前)

北大クラーク会館 3F

国際文化交流活動室



《午後のポエジア》は日本人とポーランド人が家族や友人ぐるみで広く交流する、市民に開かれたつどいです。

出しものは朗読のほか、映像、歌やギター、篠笛、三味線などと幅が広がって、次は何が飛び出してくるかとても楽しみです。毎回ポーランドの女性たちが手作りしてくださるケーキも人気の的です。

北海道は青葉の季節。北大正門から緑の木陰を進みクラーク会館に着くと、会場はポーランドの香りがいっぱいです。お友達を誘ってお気軽にご参加ください。



* 入場無料、事前申し込み不要。写真は昨年の様子。

共催 北海道ポーランド文化協会・ポーランド広報文化センター
後援 札幌市・札幌市教育委員会

 ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO